



十勝川治水100年
トークリレー 100年 ⑫

十勝川治水事業100年の歴史は洪水との闘いであり、先人たちの苦勞は計り知れないものがあったことは言うまでもありません。2016年の4連続台風や近年の温暖化による気候変動を受けて、北海道開発局では十勝川河川整備計画の改定作業が進められています。新たな計画と流域治水によってより安全度が高まることを期待しています。

十勝川治水100年記念事業

トークリレー



NPO法人 十勝多自然ネット
西江 靖幸 氏



十勝毎日新聞
令和5年6月28日 3面 掲載

十勝多自然ネット理事長 西江靖幸氏



生態系の回復に奔走

建設業者6社で設立し、2001年に「NPO法人十勝多自然ネット」へと改組し、この24年間に多くの活動をしてきました。

故太田昇先生が活動していた売買川のサケのふるさと公園にある高さ約2分の落差工に魚道を設置したり、十勝川

学生と水質検査をしたり、水生生物をタモ網で採取して身近な小河川の大切な役割や生態系を理解してもらったりと楽しく活動しています。

河川というのは、一つ間違えば人の命に関わるし、逆に人の豊かな生活になくてはならない大切な存在でもあります。治水事業とは地域住民の生命と財産を守る大変重要な社会資本整備であり、長年にわたる川に関わることで、川から多くのことを学べたことは、私の人生の宝であり、誇りでもあります。

(随時掲載)

